

こころ

vol.63
2023.1

contents

- 02 特集 | 令和5年初顔合わせ会
- 03 特集 | 令和5年抱負
- 05 施設紹介 | 米沢こころの病院認知症デイケア
- 06 シリーズDr | 大人の発達障害 第4回
- 07 シリーズ公認心理師 | 不快な感情と、その役割
- 08 野球部活動報告
- 10 シリーズ健康 | 健康運動指導士による認知症予防運動
- 11 トピックス | 米沢就労パン販売開始、ドミール再編、米沢相談支援事業開始、
フードドライブ、診療情報
- 12 外来受付予定表

新年 初顔 合わせ会



令和5年年頭の挨拶

理事長 佐藤 忠宏

皆さん、明けましておめでとうございます。

今年もこのような形で皆さんと顔を合わせる事になりました。

しかし、今年は昨年に比べ、気持ちにゆとりが出てきているように感じます。コロナにはここ3年間、翻弄されました。皆さんにも大変ご苦労をかけました。

法人は、昨年後半はこれまでにない収益の落ち込みで今後どうなる事かと心配しました。この所コロナ感染者もようやく減少傾向になり、規制も緩められてきました。

しかし、収益面では回復のためには時間がかかります。再び発症が増加しロックダウンにならないか等不安です。

報道によれば春頃から類型が2類から5類に緩和されインフルエンザと同じ扱いになるとの事です。これでやっといままでの厳しさから解放されるのではないかと期待しています。

ここで、すべてがコロナ前の状況に戻るかというと、そうではないよ

うに思います。コロナ後は周囲の景色が様々な面で変わってくるように感じます。

世界の不安定な状況、わが国での人口減少、超高齢化の促進、景気の低迷、医療界、福祉事業での再編推進、デジタル化の推進、働き方の変化、精神科での疾病構造の変化等それに、個人のものの考え方、日常生活、社会の仕組みまで大きく影響してきます。

これらの状況のもと、今後の法人はどうあるべきか、職員の皆さんもどうすべきか真剣に考える必要があります。

コロナを悲観的に考えるのではなく、この機会にこれまでの仕事の振り返りの機会であり、変革のチャンスと捉える事が出来ます。是非皆さんの意見を聞かせてください。

これまで当法人が目指してきた、精神障害者にも対応する地域包括ケアシステムについて再度全体の構造を変えてブラッシュアップする好機かもしれません。これまで作り上げてきた医療、障害福祉、介護の資源の機能を見直し、境なく大胆に連携を密にすることが新たな景色を見る為の基盤になるのではないかと思います。

新たな気持ちで頑張ってください。今年1年皆さんにとって良い年である事を祈念します。

職員代表 決意表明



地域生活支援部
部長 鈴木康仁

あけましておめでとうございます。
ここ数年は、新型コロナウイルスの流行で、世の中も公徳会も大きな影響を受けました。そのような中、昨年の野球部の優勝は、気持ち晴れやかになる明るいニュースでした。野球部の皆さんには今年も益々の活躍を期待しています。

12年前2011年の卯年は東日本大震災がありました。それでも経営陣の判断、職員一人一人の努力によって、この12年間で米沢こころの病院をはじめ、私が所属する地域生活支援部でも、くぬぎ荘の増設、就労支援センターの新規開設、先月には相談支援センター米沢とまり木の新規開設など、大きく発展することが出来ました。今は、新型コロナウイルスで大変な状況ですが、職員一人一人が出来る事から努力し、持続可能な事業の準備をして行く事が大事だと考えます。

また、千文とは十二支、12年を5周した60年を言い、今年は癸卯（みづのう）にあたります。新しい物事が長続きする年だと言われているので、持続可能な事業を計画していくには良い年なのではないかと思っています。精神障害者の地域包括ケアシステムの構築など、公徳会の更なる発展のために、私も微力ながら尽力して参ります。

公德会

各院長・施設長挨拶からの

ごあいさつ



佐藤病院
院長 沼田 由紀夫

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスが猛威を振るい、気軽に旅行することもままならず、皆様には自宅に閉じ込もりとなり、ウツウツとした日々を送らざるを得ない状況が多かったのではなからうか？と推察いたします。

そうした中で、昨年はサッカーのワールドカップで日本のチームがベスト8を逃がしはしたものの、ドイツとスペインに勝利し、我々に大きな感動と勇気を与えてくれました。身近な出来事としては、佐藤病院野球部が昨年に開催された第一回ジャパンメデイカルリーグ選抜軟式野球大会で優勝という栄冠を手にしたことです。この快挙は我々公德会の全職員にチームワークやたゆまぬ努力の大切さを教え、心を奮い立たせてくれました。この喜びを糧として、私たちは精神医療面での地域包括システムの構築を確たるものとすべく、日々努力を重ねています。そして、地域に開かれた愛のある医療を実践して参ります。



若宮病院
院長 田中 武

新年あけましておめでとうございます。

この文章を書いている今、病院内で新型コロナウイルス感染症が拡大しています。家庭内感染などにより休職を余儀なくされる人も多発する中、職員は部署内でカバーし合い、職種を超えて協力し合って病院の機能を保つことができるように努力しています。休みも十分に取れない状況で、職員は疲労困憊です。あらためて職員の皆様方に深く感謝致します。

コロナ禍の収束は先が見えず、医療現場は全く安心できる状況にはありません。不安が、常に私たちの心を鈍色の雲のように覆っているように感じます。「うつ病が治る」ということは、雲ひとつない青空のような心の状態が続くことではない。心が曇っていても雨でも、それなりに生活ができることが健康な状態。」という趣旨の先達の言葉を思い出します。不安に満ちた日々はこれからも続きますが、患者様への丁寧な対応や真心を忘れず、私たちも適度に気分転換できるとような生活を心がけていきたいと思えます。どうぞ今年も皆様のご助言を心よりお願い申し上げます。



米沢こころの病院
院長 長谷川 朝穂

皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

この数年にわたるコロナ禍や温暖化に関連した災害に加え、昨年には世界を巻き込む戦争が勃発、さらに物価上昇、ミサイルの脅威等め得太くないことを挙げれば切りがなく、お祝いを述べてよいのか迷いさえいたします。しかし世界のありようがどうであれ、まずはこの紙面をご覧いただいている方々のご健在を喜びたいと思います。

さて、米沢こころの病院では昨年12月より高齢の方を対象としたデイケア「はつらつこころ」を開設いたしました。高齢化が進む中、運動機能や認知機能の低下などフレイル（心身の衰え）の予防は、私たちすべてにとって重要な課題です。全身の運動や頭の体操など多彩なプログラムを、他の参加者と交流しお楽しみいただくことはフレイル防止のためにお役に立つことと思えます。

皆さまのご多幸と平和でよりよい未来を願い、ご挨拶とさせていただきます。



トータルヘルス
クリニック
院長 川合 厚子

明けましておめでとうございます。
1年の計は元旦にありと言われますが、皆様はどのような1年にしたいとお考えでしょうか。

当院「トータルヘルスクリニック」は高血圧、糖尿病、脂質異常症、COPD（慢性閉塞性肺疾患）といった生活習慣病を中心に内科、精神科の診療をしています。また、精神科デイケア、リハビリと、物忘れが進行しないように治療する、はつらつデイケアを併設しています。はつらつデイケアは4つあり、精神科医の他、頭と体のリハビリの専門スタッフがいて、その人その人にあつたプログラムや医療面からの助言等を行っています。物忘れが気になったらどうぞご相談ください。現在の主治医を変える必要はありません。禁煙外来も当院の特徴の一つです。「今年こそは禁煙」「何回も禁煙を試みたがうまくいかない」などちょっとしたでも禁煙してみたいという方はまずはお電話ください。薬に少ない費用でより確実に禁煙のお手伝いをいたします。

今年は兎年、新型コロナをはねのけて、健康でぴよんと一段ステップアップできる年にしてまいりましょう。よろしく願います。



ドミール南陽
施設長 阿部 ひろみ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当法人の病院再編事業に伴い、ドミール南陽は佐藤病院旧2病棟を改修し、昨年10月に新南棟として認知症棟40床を移動開設。その後旧南および北棟を改修し、12月より生活短期入所施設を移動、通所リハビリテーションのフロアを増設し定員を30名から40名に増加しました。名実ともに大規模多機能施設としての新たな一歩を踏み出しました。山形県には高齢化の波が全国で最も早く訪れており、お手本はありません。年をとっても介護が必要な状態になっても、安心して地域で住み続けられる地域包括ケアシステムの構築に貢献出来るよう、当法人の介護部門が一丸となって、また病院や福祉部門と連携を深めて取り組んで参ります。本年もどうぞよろしく願います。



年男・年女

米沢こころの病院 医療福祉相談室 瀧口彩花

入職してからあつという間に3年目を迎えました。コロナ渦でイレギュラーな対応も多々あり、入職当初より不安なことばかりでしたが、職員の方や患者さま、ご家族さまとの関わりの中で、日々多くのことを学ばせていただいております。至らぬ点が多々あると思いますが、今年は自立し、安心して仕事を任せてもらえるように、また専門職として支援の幅を広げていけるよう、自分自身のスキルアップを目指して努めて参ります。

トータルヘルスクリニック 精神科デイケア科 廣瀬衣理

あけましておめでとうございます。昨年は公徳会十年表彰に預かり、感謝と共に身の引き締まる思いです。3回目の年女を迎え、体力は衰えを感じることも多くなりましたが、趣味活動で培った行動力と気力で今年は兎のように明るく飛び跳ねて様々な問題に負けない様に頑張っていきます。また、私の得意とするポジティブ作業を実践し、利用者様の幸福度が上がるよう、愛されるデイケアを目指します！

佐藤病院 第1病棟 鈴木徹

入職し3度目の年男を迎えることが出来ました。昨年は病床の縮小やコロナ対応などで目まぐるしい1年でした。現在、私はスーパー救急病棟で主任業務を行いながら佐藤病院内で医療安全管理者として日々業務を遂行しています。重大インシデントを防ぐため日常で起こる些細なことを分析・検証し患者様の安全はもちろん、全スタッフの安全そして安心して業務が遂行できるように今年も尽力して参りたいと思います。

また私は以前野球部に所属しており現在はOBとして選手の活躍を陰ながら応援しております。昨年は天皇賜杯、県では10連覇。全国大会ではベスト16入り、昨年より新しく始まったジャパンメディカルリーグでは初年度チャンピオンに輝くなど素晴らしい活躍でした。今年はずいぶんです。ウサギ年は飛躍、向上という意味があると聞いています。「全国の強豪チームに『卵』を勝ち取って、つかめ日本一」

米沢こころの病院認知症デイケア「はつらつこころ」



前号で当施設の新設工事計画について掲載しておりましたが、令和4年12月1日に計画通り開設する事ができました。改めて認知症デイケアのご説明と、今回新設された施設紹介をさせていただきます。

認知症デイケア

認知症デイケアは、精神科を標榜する病院・診療所が設置できる認知症患者専門の通所医療施設です。主として行動・心理症状のある患者様を対象としており、精神科専門療法に位置付けられております。介護事業所との大きな違いとしては、精神科医師・内科医師をはじめとし、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、ケアワーカーなど多職種の専門職が配置されるため、様々な専門的な視点から認知症に対する医療・ケアのサービスが実施されることです。法人内の他の認知症デイケアとして、米沢駅前クリニック（定員125名）、トータル



ヘルスクリニック（定員100名）、若宮病院（定員50名）が運営しております。

「はつらつこころ」

近年、高齢化の進展に伴い、介護予防・物忘れ予防の対応が課題となっております。



はつらつこころデイケアは介護や物忘れの予防に特化したデイケアです。看護師、作業療法士、精神保健福祉士、ケアワーカーが常駐し、当院の精神科医、内科医と連携しながら医療やリハビリテーションの場を提供いたします。当デイケアは米沢こころの病院北側に設置されており、定員25名でスタート致しました。

住み慣れた地域で安心して自分らしく過ごす為に、全身の運動や頭の体操など健康を保つ多彩なプログラムを組んでおります。また、他の利用者とは交流しつつお楽しみいただくことは、心身機能の維持に大切なことです。

コロナ禍で難しくなってしまった



人付き合いや日々の外出ですが、習慣的に安心して参加していただくことを通し、認知症予防や進行防止、情緒の安定につなげ、健康・元気で「はつらつとした毎日」を応援させていただきます。地域の方々と愛されるデイケアを目指して職員一同、努力してまいります。

（☎0238-2710721）



大人の発達障害

第4回 発達障害に併存する精神疾患と治療

医師 直長 康子

生き辛さが続くこと

うつになることも

発達障害を有する人の中には、精神科領域の疾患が併存することがしばしばあります。対人関係が苦手だったり、集団への適応が上手くいかない状況が続くと、うつ状態になったり、人前に出るのが怖くなったり引きこもりになったりすることは、容易に想像できるでしょう。また、理由ははっきりとはわかりませんが、幻覚・妄想や、躁状態の症状を呈することもあります。

発達障害に対して効果がある薬は、現時点ではあまりないといえますが、これらの併存疾患に対しては、薬物療法や精神療法などの治療を試みるのが有効です。併存疾患がなくなると、日々の生活は格段に過ごしやすくなりますし、新しい一歩を踏みだすきっかけにもなるかもしれません。

ADHDからうつに

―自殺も考えた―

20代後半の男性Mさんは、小学生の頃から片付けができず、忘れ物も多く、いつも親に怒られていました。怒られている最中も他のことを考え

てしまい上の空で、いつそう厳しく叱られてしまうような子どもでした。成績は良く、大学に進学、大学院も修了し、事務職として就職しました。Mさんは真面目に一生懸命仕事に取り組みましたが、うつかりミスを繰り返したり、無意識に取引先に失礼な態度とってしまっていたり、ということが続きました。上司や同僚は、あきれて次第に冷たくなり、Mさんは気分が落ち込んで仕事に行くことが辛くなり、精神科を受診しました。ADHDの傾向に対して、注意力や集中力を上げる薬が処方され、仕事の中のミスはいくらか減りました。しかし、気分は晴れるどころかどんどん落ち込み、悩んだ末に、Mさんは退職しました。

その後は家にひきこもってしまい、「社会の役に立たない自分は死ぬしかない」と思い詰めるまでに、うつ状態は悪化しました。

家族の勧めで精神科への通院を再開し、治療によってある程度気分が回復した時、Mさんは、自分のADHDの特性を受け入れたうえで、再就職する選択をしました（一般の採用とは別に、身体及び精神の問題を抱える人を特別な条件で雇用する障害者雇用を、多くの企業が行っている。

ます）。

その結果、職場では周囲からの十分な配慮が得られるようになり、いまはストレスの少ない生活が送れています。うつもすっかり良くなりました。

発達障害は病気？

Mさんは、「段取りが悪い」「不注意でミスをしてしまう」というような特性を悲観的に捉え、死にたい気持ちにまでなっていました。Mさんが「ADHDは自分の性格の一部」という発想転換で、自分なりに満足のいく生活を手に入れることができた。もちろんそれは、本人の力だけではなく、家族や職場の人たちの協力の成果でもあります。

自閉スペクトラム症にしてもADHDにしても、誰でもが多かれ少なかれ、その傾向を持ち得るものです。どこまでは普通でどこからが病的なのか、正確に判断することは難しいです。治療によって治せるものでもありません。大事なことは、本人、そして社会全体が発達障害の特性を理解して受け入れ、サポートの輪を広げていくことです。



不快な感情と、その役割

皆さんは、『感情』と聞くと何が思い浮かびますか？喜び、悲しみ、怒り、驚き、恐怖…など、感情の名前が思い浮かんだ方もいらっしゃるでしょうし、ポジティブ感情、ネガティブ感情、感情コントロールといった、感情がつく言葉を思い浮かべた方もいらっしゃるかもしれません。私たちは、様々な感情を抱きます。そして、時には感情をコントロールしようともします。

感情の中でも、怒りや恐怖といった不快な感情を扱うことには苦戦しやすい、厄介なものや、嫌なもの、とみなされやすい傾向があるように思います。不快な感情を抱き続けることで余計につらくなるため、こうした感情を否定したり抑え込んだりしたという経験も、皆さん一度はあるのではないのでしょうか。こうすることによって、不快な感情が一時的に消えたり、和らいだりして楽になることもあります。ただ、不快な感情を抑え込むためにはものすごく多くのエネルギーを使っているため、この方法をたくさん使っていると、お腹が痛くなるといった体調不

良が生じたり、エネルギーが不足して元気がなくなったり、食欲がなくなったり、逆に食べ過ぎたりといったことも起きやすくなると言われています。また、不快な感情が自分の中で勝手に暴れ出して、コントロールが難しくなることもあります。こうしたことをふまえると、不快な感情を扱うことは中々難しいですが、この感情ともうまく付き合っていくことは、生きていく上で大切なポイントの一つと言えます。そして、そのためには何かしらの工夫が必要そうです。

その第一歩として、不快な感情は私たちにとってどのような役割を果たしているのか、ということを理解することはとても大切と言えます。不快な感情、という名の通り、あまり良い印象は持ちにくいかもしれませんが、私たちが生きていく上で必要な行動をとるために、大切な役割も担ってくれています。不快な感情とその役割について、いくつか例を挙げてみます。

怒り 危険から身を守ったり、自分の人権を守ったりする。

恐怖・恐れ 危険を予測し、避ける。

心配 計画的に行動する。

悲しみ 思いやりをもつ。

罪悪感 責任ある行動をとる。

このように、不快な感情が果たしている役割を見てみると、不快な感情は、厄介で嫌なもの、というだけではないことが分かります。不快な感情が果たす様々な役割を知り、こうした感情も大事なものととして理解していく。このことは、心や身体が不調になったり、不快な感情が暴れだしてコントロールが困難になったりすることの予防にも繋がる大切なポイントの一つとも考えられます。ポジティブな感情も、ネガティブな感情も、どちらも私たちにとても大切な感情です。日々の生活のちよつとした時間に自分の心の声に耳を傾けてみたり、自分が抱いている感情に気づいて観察してみたりすると、何かしらの気づきや発見があるかもしれません。

佐藤病院 公認心理師
塩崎 みなみ

快挙!! 病院野球チームの日本一に!! 第1回ジャパンメディカルリーグで優勝!!

11月25日(金)〜11月27日(日)に茨城県美浦村光と風の丘公園野球場にて行われました第1回ジャパンメディカルリーグ選抜軟式野球大会に佐藤病院野球部が出場致しました。

本大会は、全国の医療従事者を対象とした初の全国規模の野球大会であり、「医療界の甲子園」として、天皇賜杯や国民体育大会に出場する強豪チームも参加し、病院野球チームの頂点を決める第1回大会になります。

佐藤病院野球部は、2回戦から登場し、北海道の羊ヶ丘病院に勝利し、翌日の準決勝では、昨年の西日本大会で優勝実績のある佐賀県の医療法人ひらまつ病院と対戦。0-2で迎えた最終回に一挙3点を取り、逆転で勝利を収めました。そして、病院チームの頂点を決める決勝戦では、栃木県の足利赤十字病院との対戦となりました。佐藤病院が先制するも、すぐ同点にされ、緊迫した試合展開となりましたが、主将の樋口真大選手が、8回の先頭打者でセンター前安打を打ち、後続の打者もしっかり繋ぎ、4番武田渉選手の技ありの一打で勝ち越し。最後は、1年目の清水駿投手が、相手のクリーンナップをしつかりと抑え、3-2で勝利し、記念すべき第1回大会で公徳会佐藤病院野球部が優勝し、初代優勝チームとして日本一の快挙を達成致しました。



初代王者 公徳会佐藤病院



〔最優秀選手賞〕

清水 駿

(経営管理部総務課)

〔打撃賞〕

武田 渉

(若宮病院)



2回戦 | 2022年11月26日/光と風の丘公園野球場 第3試合
羊ヶ丘病院 VS 公徳会佐藤病院

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
羊ヶ丘病院	0	0	1	0	0	0	0	1
公徳会佐藤病院	2	0	4	0	1	0	×	7

(大会規定 7回戦)

後藤功樹、丹野拓海 - 高橋翼

▽二塁打=市野典秀、伊藤信弥

準決勝 | 2022年11月27日/光と風の丘公園野球場 第2試合
医療法人ひらまつ病院 VS 公徳会佐藤病院

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
医療法人ひらまつ病院	0	1	0	1	0	0	2
公徳会佐藤病院	0	0	0	0	0	3×	3

(大会規定 6回戦 1時間40分)

高橋蓮斗、清水駿 - 高橋翼

▽二塁打=長内秀介

決勝 | 2022年11月27日/光と風の丘公園野球場 第3試合
足利赤十字病院 VS 公徳会佐藤病院

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
足利赤十字病院	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
公徳会佐藤病院	0	0	1	1	0	0	0	1	×	3

(大会規定 決勝戦9回戦)

清水駿 - 高橋翼

▽二塁打=高橋翼、市野典秀

令和4年度 各大会結果

県大会結果	優勝 (10連覇)	第38回山形県軟式野球大会 クラス別選手権大会(Aクラス)	5月28日 米沢市営野球場
	優勝 (9連覇)	第77回国民体育大会軟式野球競技 兼 第49回東北総合体育大会山形県予選会	7月2日~3日 山形県野球場
	優勝 (10連覇)	天皇賜杯第77回全日本軟式野球大会山形県予選会 兼 第92回山形県社会人軟式野球大会	7月30日~31日 酒田市光ヶ丘野球場
東北大会結果	第5位	令和4年度国民体育大会東北ブロック大会 兼 第49回東北総合体育大会軟式野球競技	8月20日~21日 青森県総合運動公園野球場
	優勝	第30回東北軟式野球連盟会長旗争奪 軟式野球選手権大会	10月22日~23日 鶴岡市小真木原野球場
全国大会結果	3回戦敗退 (ベスト16)	天皇賜杯第77回全日本軟式野球大会 ENEOSTーナメント	9月17日~22日 佐賀市さがみどりの森球場
	1回戦敗退	水戸市長旗第30回東日本軟式野球選手権大会	11月12日~15日 ノーブルホームスタジアム水戸
	優勝 (初代王者)	第1回ジャパンメディカルリーグ	11月25日~27日 美浦村光と風の丘公園野球場

令和4年度は、5月に開催された第38回山形県軟式野球大会クラス別選手権大会(A)を皮切りに、7月の第77回国民体育大会山形県予選会、第92回山形県社会人軟式野球大会に出場し、すべての山形県大会にて優勝することができました。特に第92回山形県社会人軟式野球大会では、大会10連覇を達成し、山形県野球界の記録に残る大会となりました。

まだまだ新型コロナウイルスの影響が残るシーズンとなりましたが、多くの関係者の皆様に支えられ、全日程を終了することができました。野球ができる環境を与えてくれた地域の皆様、職員の皆様、そして家族に心から感謝申し上げます。

健康運動指導士による認知症予防運動

公徳会では南陽市、高畠町の一般介護予防事業として「認知症予防教室」事業を「コグニサイズ」で受託しております。

具体的には、認知課題（頭を使った課題）と運動課題（体を使った課題）を両方同時に行うことによって、心身の機能を効率的に上げていくプログラムになっています。

ひとりでも十分効果的な運動になり、あるいは複数の方々とやると、より楽しみながら運動することができます。今回も前号に引き続き、「コグニサイズ」で実際に取り入れている運動の一部をご紹介します。

注意事項 >>> ・無理のないペースで ・毎日少しずつ

基本姿勢



- ・椅子に浅く腰掛ける。
- ・体幹を意識し、姿勢を正す。

中級編

指体操編 (★★★★☆)



- ①右手はグー・チョキ・パーのリズムで

- ②左手はパー・チョキ・グーのリズムで



- ③右手と左手を同時に動かす

チョキの時は両手がチョキになるよ！

チャレンジ課題 (★★★★☆)



足踏みをしながら
チャレンジしよう!!

上級編

椅子体操編 (★★★★☆)



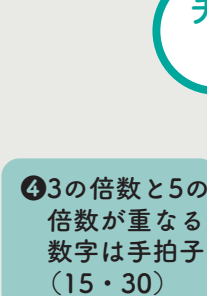
- ①椅子に座り、足踏みをする
②足踏みをしながら、数を数える(30まで)



- ③3の倍数で右手を上げる
(3・6・9...)



- ④5の倍数で左手を上げる
(5・10・15...)



- ⑤3の倍数と5の倍数が重なる数字は手拍子
(15・30)

チャレンジ課題 (★★★★☆)



足踏みを前後や
左右に変更しよう!!

米沢就労パン販売開始

この度、公徳会米沢就労支援センターは、建物の増設定員拡大に伴いパン工房を新設し、11月1日よりニューアルオープン致しました。

定員20名から30名に拡大し、週5回（月・金曜日）開催しています。

新設となった『パン工房リアン米沢』では、公徳会では初となるガスオーブンを使っており、電気オーブンはまた違ったしっとりとした柔らかい食感が自慢のパンです。冷凍生地は使わず毎日発酵させた生地を利用者一人ひとりが丁寧に成型し焼き上げています。価格もお求めやすくなっていますので是非ご賞味ください。

（問）02381-4917651

ドミール再編

前号特集でもドミール南陽の再編について掲載致しましたが、令和4年12月1日よりデイケア（通所リハビリテーション）の定員を現在の30名から40名に増員。ショートステイ（生活シヨート）をこれまでの施設からドミール南陽本体1階へ移設し、定員を32名から19名に変更致しました。施設内でも職員の配置を見直しており、より皆さまに満足いただけるサービス提供を指向してまいります。施設レイアウトはホームページにも掲載しておりますので、そちらをご覧くださいだけばと思います。

相談支援センター

米沢とまり木の開設

令和4年12月16日、米沢駅前クリニック内に相談支援センター米沢とまり木（以下米沢とまり木）を開設致しました。米沢とまり木では、主に米沢市にお住いの障がい者（児）の方へ、障害福祉サービスを利用するために必要な計画相談支援を致します。米沢市の自立支援協議会を通して、かねてから精神科の専門性を持った相談支援事業所の要望があり、南陽市を拠点に相談支援事業の実績がある当法人にて要望に応える形となりました。来年度からは、計画相談支援のみではなく幅広い相談に応じられる相談支援事業所に機能を強化していく予定です。

（問）02381-2711531

フードドライブ活動

近年コロナ禍により、法人の地域貢献活動が行えていないことから、内部で出来る活動としてフードドライブ活動を行い、集まったものを山形市でフードバンク活動を行っている、「一般社団法人やまがた福わたし」様へ贈呈してきました。

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動です。近年食品ロス対策としても話題となっており、県内でも官公庁を始め各企業、団体が活動に取り組んでいます。

診療情報

令和4年度

【佐藤病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	75.9	73.9	73.3	74.4
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	5	6	9	6.7
入院者数【総ベッド数114床】	1日平均	110.8	107.5	102.1	106.8
入院件数	月件数	22	16	26	21.3
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	0	0	3	1.0
退院件数	月件数	23	22	32	25.7
平均在院日数		113.2	126.9	116.3	118.8
（うち、救急病棟平均在院日数）		73.4	84.3	76.5	78.1

【若宮病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	64.9	71.1	70.2	68.7
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	14	10	12	12.0
入院者数【総ベッド数113床】	1日平均	107.6	97.5	91.6	98.9
入院件数	月件数	29	23	12	21.3
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	2	0	1	1.0
退院件数	月件数	34	31	21	28.7
平均在院日数		102.4	107.7	121.4	110.5
（うち、救急病棟平均在院日数）		56.8	60.5	66.4	61.2

【米沢こころの病院】

		10月	11月	12月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	83.8	89	83.1	85.3
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	7	5	6	6
入院者数*【総ベッド数120床】	1日平均	92.7	91.4	89.9	91.3
入院件数	月件数	33	22	28	27.7
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	0	1	1	0.7
退院件数	月件数	24	25	30	26.3
平均在院日数		86.0	80.3	89.4	85.2
（うち、救急病棟平均在院日数）		68.6	63.5	68.5	66.9

表紙写真

「ウメモドキ」

撮影／渡部俊一氏



外来受付時間・担当医師予定 1/1～

【佐藤病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	佐藤忠宏 沼田由紀夫 直長康子	澤村一司 渡部 亮	武吉健児 直長康子	沼田由紀夫 文 鍾玉	澤村一司 渡部 亮		
午後1:30～4:30	武吉健児	岩本康夫	薛 陸景	岩本康夫	薛 陸景		
専門外 来制	午前 8:30～11:30	沼田由紀夫(アルコール)	澤村一司(もの忘れ)		澤村一司(ストレス) 渡部 亮(発達障害)		
	午後 2:00～4:00	武吉健児(ひきこもり)		岩本康夫(依存症)	齋藤卓弥(隔週)(児童思春期) 須山 聡(隔週)(児童思春期) 薛 陸景(不安・恐怖症)		

【若宮病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	長澤浩樹 永田真一 阿部詔子	阿部 淳	日向正光 石田留生	田中 武 石井玄樹 岡村未央	日向正光 奥山有里子 阿部詔子	田中 武 担当医(第1・3週)	
午後1:30～4:30	石井玄樹 永田真一	阿部 淳(第1・3・5週) 長澤浩樹	阿部詔子		奥山有里子		
専門外 来制	午前 8:30～11:30	岡村未央 (児童思春期)	田中 武 (依存症)	成重竜一郎 (児童思春期)	成重竜一郎 (児童思春期)		
	午後 1:30～4:30	日向正光(うつ) 成重竜一郎(児童思春期)	成重竜一郎 (児童思春期)	石井玄樹(児童思春期) 石田留生(児童思春期)	阿部詔子 (もの忘れ)		

【米沢こころの病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	竹内幸宏 遠藤雅俊 垂水良介(隔週)	長谷川朝穂 中尾友宣 遠藤雅俊	長谷川朝穂 御供正明	富田 裕 遠藤雅俊 御供正明	竹内幸宏 御供正明 荒井亜佐美		
午後1:30～4:30	富田 裕 垂水良介(隔週)	竹内幸宏 富田 裕	中尾友宣	中尾友宣 荒井亜佐美	長谷川朝穂		
専門外 来制	午前 8:30～11:30	遠藤雅俊 (不安症・パニック障害)	中尾友宣(もの忘れ)	長谷川朝穂(アルコール)	御供正明(ストレス)		
	午後 1:30～4:30	富田 裕(うつ)	竹内幸宏(ストレス)	成重竜一郎(児童思春期)	相良雄一郎(睡眠)月1回		

【米沢駅前クリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	薛 陸景	直長康子	中尾友宣 渡部 亮	武吉健児	沼田由紀夫	長谷川朝穂 御供正明(第1・3週) 当番医(第2・4週)	
午後1:30～4:30	岩本康夫	澤村一司	岩本康夫		富田 裕		
専門外 来制	午前 9:00～11:30					須山 聡(隔週) (児童思春期)	

【トータルヘルスクリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	川合厚子(内科)	川合厚子(専門外来)	川合厚子(内科)		川合厚子(内科)		
内科 予約制 午後2:30～4:00		川合厚子(専門外来)					

※各施設担当医師については変更になる場合もありますのでご確認ください。

※診療及び、各種お手続き等に関するご相談・お問い合わせは以下の各病院、医療福祉相談室で受け付けいたします。

佐藤病院

☎0238-40-3170(代)

若宮病院

☎023-643-8222(代)

米沢こころの病院

☎0238-27-0506(代)

理念

- ・愛のある医療
- ・良識に基づいた医療
- ・公正、公平な医療

基本方針

- ・良質な医療の提供につとめます
- ・患者さま、利用者さま中心の医療を行います
- ・地域に立脚した医療を行います
- ・安全で安心と満足の得られる医療を提供します
- ・保健、医療、福祉の幅広い視点に立って健康を考えます



社会医療法人公徳会 広報誌 こうとく vol.63

記載内容につきまして、ご意見・ご質問・ご感想等ございましたら、こちらまでご連絡ください。

令和5年1月16日発行 第63号 発行/社会医療法人 公徳会 編集/公徳会広報委員会
社会医療法人 公徳会/〒999-2221山形県南陽市棚塚948-1 TEL.0238-40-3170 FAX.0238-43-2076

☎http://www.koutoku.or.jp
✉sato-hp@koutoku.or.jp

